台東区道路愛称名の由来



番号	愛　称　名	由　来
1	すえひろれんがどおり **すえひろレンガ通り**	沿道の末広商店街と道路の舗装がレンガ色なことから
2	なかかちいちどおり **仲徒一通り**	仲御徒町１丁目町会に因んで
3	ことぶきこどもえんどおり **ことぶきこども園通り**	沿道に「ことぶきこども園」が立地していることから
4	あさひかいどおり **アサヒ会通り**	アサヒ会商店街に因んで
5	くらまえしょうがっこうどおり **蔵前小学校通り**	沿道に蔵前小学校が立地していることから
6	さんけいどおり **三桂通り**	旧町名の三筋町、桂町に因んで
7	いっぷくよこちょう **いっぷく横丁**	地元の人や観光客が訪れ、ほっと一息入れる小さな飲食店が多いため
8	しんそどおり **親疎通り**	言問通りから南100m幅が強制疎開の対象とされた。疎開という言葉を忘れず、後世に伝えるため
9	こまちゅうどおり **駒中通り**	沿道に駒形中学校が立地していることから
10	とりこえみょうじんどおり **鳥越明神通り**	沿道に鳥越神社（鳥越明神）が立地していることから
11	おくらまえどおり **御蔵前通り**	江戸時代に幕府の御蔵（米蔵）があったことから
12	せんりゅうよこちょう **川柳横丁**	沿道の龍宝寺に、川柳の始祖である柄井川柳の墓があることから
13	えめらるどあべにゅー **エメラルドアベニュー**	御徒町の来街者への利便性向上等のため
14	ひすいあべにゅー **ひすいアベニュー**	御徒町の来街者への利便性向上等のため
15	だいあもんどあべにゅー **ダイアモンドアベニュー**	御徒町の来街者への利便性向上等のため

番号	愛　称　名	由　来
16	さんごすとりーと **珊瑚ストリート**	御徒町の来街者への利便性向上等のため
17	るびーすとりーと **ルビーストリート**	御徒町の来街者への利便性向上等のため
18	さふぁいやすとりーと **サファイヤストリート**	御徒町の来街者への利便性向上等のため
19	すみちょうどおり **角町通り**	旧町名である「角町」に因んで
20	なかのちょうどおり **仲之町通り**	吉原のメインストリートの「仲之町」に因んで
21	えどちょうどおり **江戸町通り**	旧町名である「江戸町」に因んで
22	あげやどおり **揚屋通り**	旧町名である「揚屋町」に因んで
23	きょうまちどおり **京町通り**	旧町名である「京町」に因んで
24	ふくいちょうどおり **福井町通り**	旧町名の「福井町」に因んで
25	かみなりもんいちのみやどおり **雷門一之宮通り**	商店会名に因んで
26	せいかどおり **精華通り**	精華小学校の名前を精華公園とともに末永く残すため
27	たまひめいなりじんじゃどおり **玉姫稲荷神社通り**	沿道に玉姫稲荷神社が立地していることから
28	きよかわぶんしつどおり **清川分室通り**	沿道に北部区民事務所清川分室が立地していることから
29	いちようざくら・こうげつどおり **一葉桜・光月通り**	街路樹の桜（一葉桜）と光月町会に因んで
30	すけろくゆめどおり **助六夢通り**	歌舞伎の演目「助六由縁江戸桜（すけろくゆかりのえどざくら）」の花川戸助六に因んで

番号	愛　称　名	由　来
31	ろっくよこちょう **六区横丁**	浅草公園六区に因んで
32	くらまえじんじゃどおり **蔵前神社通り**	沿道に蔵前神社が立地していることから
33	やなぎばしちゅうおうどおり **柳橋中央通り**	柳橋１丁目と２丁目の中央にあることに因んで
34	やなぎばししのづかどおり **柳橋篠塚通り**	沿道に篠塚稲荷神社が立地していることから
35	やなぎばしおおかわばたどおり **柳橋大川端通り**	江戸時代、神田川が隅田川に注ぐ柳橋界隈が「大川端」と呼ばれていたことから
36	やなぎばしさくらきたどおり **柳橋桜北通り**	街路樹の桜（アーコレード）に因んで
37	やなぎばしさくらみなみどおり **柳橋桜南通り**	街路樹の桜（アーコレード）に因んで
38	おかずよこちょう **おかず横丁**	周辺に町工場が多く、共働きの家庭では、この横丁で「おかず」を買い求めていたことから
39	まごぞうどおり **孫三通り**	沿道に孫三稲荷が立地していることから
40	きねやどおり **杵屋通り**	周辺に長唄や三味線などの「杵屋」を名乗る師匠が多く住んでいたことに因んで
41	ねぎしやなぎどおり **根岸柳通り**	沿道の両側に植えられた柳の木に因んで
42	しのぶしょうどおり **忍小通り**	沿道に忍岡小学校が立地していることから
43	あさくさこうふくいなりどおり **あさくさ幸福稲荷通り**	沿道に幸福稲荷大明神が立地していることから
44	がくもんのみち **学問のみち**	ＪＲ御徒町駅を起点とし、湯島天神まで一本道でつながっていることから
45	やなかきってどおり **谷中キッテ通り**	多くの人にキッテ（来て）いただきたい。また切手同様、人と人、人と物をつなぐ役割を果たしたいから

番号	愛　称　名	由　来
46	おぎょうのまつどおり **御行の松通り**	沿道に、江戸時代から「根岸の大松」と人々から親しまれた「お行の松」があることから
47	あさくらちょうそかんどおり **朝倉彫塑館通り**	沿道に国の有形文化財の朝倉彫塑館が立地していることから
48	ろくあみだよこちょう **六阿弥陀横丁**	江戸～戦前、江戸六阿弥陀霊場の第五番として知られた「常楽院」の門前通りが同地にあったことから
49	さんまいばしよこちょう **三枚橋横丁**	江戸時代、不忍池より忍川が流れており、「三枚橋」という橋梁が架かる通りがあったことから
50	まりしてんよこちょう **摩利支天横丁**	沿道に「摩利支天徳大寺」が立地し、現在も同寺への参道となっていることから
51	ろくあみだどおり **六阿弥陀通り**	江戸時代に流行した六阿弥陀詣の、四番与楽寺（田端村）～五番常楽院（下谷広小路）の巡回経路の一部であることから
52	しもねぎしちゅうおうどおり **下根岸中央通り**	下根岸町（旧町名）区域の中央部に位置する道路であるため
53	いちようきねんかんどおり **一葉記念館通り**	沿道に区立一葉記念館が立地していることから
54	ちゃやまちどおり **茶屋町通り**	揚屋通りに続く道として、幕末には多くの引手茶屋が軒を連ねていたことから
55	さるわかかぶきどおり **猿若歌舞伎通り**	沿道に江戸末期から明治初期まで、猿若三座（中村座・市村座・森田座＜河原崎座＞）が並び、歌舞伎の中心地として栄えたことから
56	ひつじみち **ひつじみち**	午（馬道通り）と申（猿若歌舞伎通り）の間にある道のため
57	いしはまよこづなどおり **石浜横綱通り**	沿道にある相撲部屋から横綱が誕生したことから
58	いろはかいどおり **いろは会通り**	いろは会商店街に因んで